

## 静岡県 裾野市 様

# インターネット／電子メールを自由に使うことは生産性向上に有効。 監視していることを通達することで、私的利用の抑止力は十分に働く。

電子メールの監視により情報流出防止効果も

### 富士山のすそ野に広がる 自然豊かな裾野市

裾野市は静岡県東部に位置し、東に箱根の山々、西に愛鷹連山、南に駿河湾を望み、中央に流れる黄瀬川は数々の旧跡を秘め駿河湾に注ぎ、麗峰富士山のすそ野に広がる自然豊かな工業のまちとして発展している。面積は138.39km<sup>2</sup>、人口53,651人(平成15年10月1日現在)で、東京都心から100km圏域に位置し、東名高速道路裾野I.Cを有し、中心市街地から東海道新幹線三島駅まで車で約10分の距離にある。また市域は、標高78.5m～2,169mの富士山五合目まで位置し、四季折々の富士の景色が眺められる。

市を横断する東名高速道には裾野I.Cが開通し、首都圏や中京圏への輸送利便性が大幅に向上し、トヨタ自動車を始めとする企業の進出も活況を呈している。

### 情報化のあゆみ

このような工業化の進展の中で、行政サービスへの要求も高度化複雑化し、情報化システムに

ついても平成12年度に旧来のホストコンピュータからクライアントサーバシステムに移行し、平成14年度からは住民記録システムをはじめ全業務をクライアントサーバシステムに移行した。

また庁舎内のLANを一本化し、PCを一人一台配備することで、職員の生産性を向上させ、住民サービスの充実をめざしている。

### インターネットや 電子メールの有効利用

PCが職員一人一人に道具として配られたとき、インターネットや電子メールの利用に規制を加えるべきかという議論が起こった。当初ファイアウォール付属のコンテンツフィルタリング機能を使用し規制をかけたが、日々更新されるインターネットサイトを全て網羅し、禁止することは難しく、かつ禁止サイトの中に有効サイトが含まれることも判ってきた。

URLフィルタリングソフトも検討したが、広範な業務範囲の中での規制ルールづくりは極めて難しく問い合わせ対応の負荷を考えるとインター

#### ご担当者様



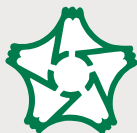
静岡県 裾野市  
裾野市役所  
企画部  
情報システム室 係長  
柏木 信博 氏

#### 弊社担当営業



株式会社ハンモック  
ネットワークソリューション事業部  
営業部 部長  
若山 大典

#### 導入先企業データ



#### 静岡県裾野市

市役所所在地：静岡県裾野市佐野 1059番地  
裾野市人口：53,651名(2003年10月1日現在)  
URL：<http://www.city.susono.shizuoka.jp>

#### 「すがすがしく、すこやかに、たすけあいに生きるまちづくり」

裾野市は静岡県の東部に位置し、麗峰富士の裾野に広がり、東に箱根の山々、西に愛鷹連山と自然豊かな工業のまちとして発展しています。

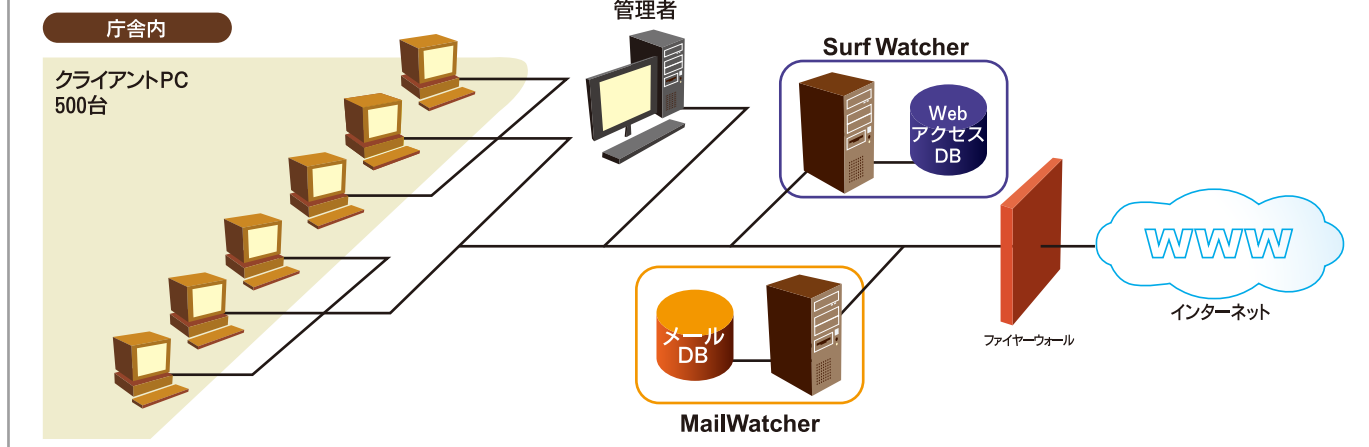
面積は138.39平方キロメートル、人口は約53,000人で、便利な交通網と気候温暖で水と緑に恵まれた、自然と産業の調和するまちです。

平成7年には『健康文化都市』を宣言し、「すがすがしく、すこやかに、たすけあいに生きるまちづくり」を目指しています。

そして、裾野市の一番の自慢は雄大な富士山の眺望です。稜線が最も美しく、優雅で、気品に満ちた四季折々の富士山をぜひご覧ください。



## ■静岡県裾野市 SurfWatcher/MailWatcher構成



ネットの積極利用という大前提を実現できないと判断した。

そこで、インターネットや電子メールの利用を監視し、全職員に到達することで私的利用を抑止する方法をとることにした。つまり、抜けや漏れのある禁止をするのではなく、自由に使用させるかわりに監視をし、注意をうながし、私的利用を防止するわけである。

### 簡単な導入、確実なログ収集 低コストの導入費用

平成13年度末に、監視タイプの製品の比較検討を行い、価格、性能から最終的にハンモックと他の1社の製品に絞って、詳細検討を行った。

SurfWatcher/MailWatcherを評価版でテストしたところ、ともに面倒な設定変更等はなしに設置するだけでログの監視・保存を行うことができた。また、収集したデータの分類・レポート機能も充実していて、簡単な操作で運用できることも確認できた。そして、比較した他の1社とくらべ、価格が抑えられているのも優位な条件となった。

比較した他製品はデータの取りこぼしが激しく、使用に耐えられるものではなかった。

機能・運用時の負担・価格等々、総合的に判断した結果、SurfWatcher/MailWatcherの導入が決まった。

### 個人情報流出への対策

部長会議で、全職員に対するインターネット、電子メール監視システムの導入の通達を行った後、運用を開始した。

最初は限定したPCに対して監視が出来ることを確認し、その後、全職員に対してオープンにした。当初は私的利用と思われるものが散見され、毎日レポートを作成、該当者に注意をうながしたりした。

その結果、抑止効果は十分に働き、現在では週に1度レポートを見る程度で十分に管理ができるほどの状態になっており、目論んでいた導入効果を達成している。

また電子メールの監視については、個人情報流出防止対策として十分に機能している。

副次効果としては、新種のウィルス特にインターネットのサイトを見に行くことにより感染するウィルス感染防止効果も認められる。

具体的にはウィルスチェッカーによりウィルスが何時何分に侵入したという情報を元にインターネットサイトを確認し、そのサイトをファイアーウォールに登録し禁止サイトにすることでウィルスの蔓延を防止することもできる。

### 今後の計画

昨今、話題となっている個人情報流出防止

対策が焦眉のテーマである。基幹業務系PCについては指紋認証方式、パスワード管理を実施しており、電子メールについてもMailWatcherが効果的であると考えている。今後は職員のPCファイルは全てファイルサーバー運用により、個々人のPC上にファイルを保存しない運用を検討している。

また、PCに付属している、I/Oデバイス(DVD/CD等)についても読み書き禁止等の措置も考慮している。